

地方独立行政法人神戸市民病院機構 平成22年度決算概要

資金収支

21年度 実績	22年度		前年度比	目標比
	目標	実績		
14億円	3億円	32億円	18億円	29億円

損益

21年度 実績	22年度		前年度比	目標比
	目標	実績		
30億円	7億円	36億円	6億円	29億円

財務諸表の概要

【損益計算書】一定期間（各事業年度）における法人の経営成績を表示
（単位：億円）

	H21	H22	増減
収益総額	379	401	22
営業収益	367	392	25
営業外収益	7	7	0
臨時利益	5	2	▲ 3
費用総額	349	365	16
営業費用	333	350	17
営業外費用	13	15	2
臨時損失	3	0	▲ 3
当期純利益	30	36	6
当期総利益	30	36	6

※当期総利益の36億円は、積立金として整理する

◆年度計画の達成に向け、院長による全部門ヒアリングを引き続き実施し、組織目標や課題認識の共有、課題解決への取組みを通して、PDCAサイクルの確立や全職員の経営意識の向上を図った。
◆診療体制の充実のために医療職の確保を積極的に行い、DPCを踏まえた病床運営、手術室や医療機器の効率的な運用、地域医療機関との連携強化などに取り組んだことに加え、診療報酬改定の影響もあり、大幅な増収となった。
◆その結果、21年度決算をさらに上回る好成績となった。

【貸借対照表】一定時点（事業年度末3月31日現在）における法人の財政状態を表示
（単位：億円）

	H22. 3	H23. 3	増減		H22. 3	H23. 3	増減
資産の部	543	961	418	負債の部	448	830	382
固定資産	396	647	251	固定負債	295	533	238
流動資産	147	314	167	流動負債	153	297	144
				純資産の部	95	131	36
				資本金	53	53	0
				資本剰余金	12	12	0
				利益剰余金	30	66	36
資産合計	543	961	418	負債・純資産合計	543	961	418

【キャッシュ・フロー計算書】一定期間（各事業年度）の現金・預金の増減を活動区分別に表示
（単位：億円）

	H21	H22	増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	21	46	25
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 40	▲ 88	▲ 48
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	58	207	149
IV 資金増加額	39	165	126
V 資金期首残高	40	79	39
VI 資金期末残高	79	244	165

※期首残高79億円は、新病院建設工事に係る長期借入収入の前受け69億円を含む（実質残高10億円）

※期末残高244億円は、新病院建設工事等に係る長期借入金等収入の前受け224億円を含む（実質残高20億円）

【行政サービス実施コスト計算書】納税者が実質的に負担しているコスト（行政サービス実施コスト）を表示
（単位：億円）

	H21	H22	増減
I 業務費用	27	9	▲ 18
(1) 損益計算書上の費用	349	365	16
(2) (控除) 自己収入等	▲ 322	▲ 356	▲ 34
II 機会費用	1	1	0
III 行政サービス実施コスト	28	10	▲ 18

※機会費用は、資本金・資本剰余金計65億円を法人が利用したことに伴う納税者から見た逸失利益を表す